

# 平成28年度第1回国分寺市地域福祉推進協議会 議事録

日時：平成28年6月28日（火曜日）  
午後6時30分～午後8時30分  
会場：国分寺Lホール

## 出席者

別紙のとおり

## 欠席者（敬称略，50音順。）

個人の市民：大澤源治  
泉山自治会：神永貞信  
国分寺あゆみ会：須長靖夫  
国分寺市私立幼稚園協会：和地俊幸  
国分寺市赤十字奉仕団：野和田晃  
国分寺市民生委員・児童委員協議会：戸倉央江  
国分寺市民生委員・児童委員協議会：山田正則  
社会福祉法人 けやきの杜：大竹真澄  
社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会：大内陽子  
認定NPO法人 冒険遊び場の会：武藤陽子

## 代理出席（敬称略，50音順。）

国分寺難病の会：阿部敏子  
社会福祉法人 はらからの家福祉会：岡本和子

**事務局**：福祉保健部長（一ノ瀬），地域福祉課長（櫻井），  
地域福祉課：福祉計画係長（佐藤），地域福祉係長（澤田），福祉計画係員（小  
峯，松原），地域福祉係員（田中，天野）

## 次第

- 1 開会のあいさつ
- 2 「団体紹介・参加委員自己紹介シート」及び「地域福祉に関する自主的な活動目標シート」集について
- 3 自己紹介及び活動目標の紹介
  - ・個人の市民 豊沢 淳一 氏
  - ・公益社団法人 国分寺市シルバー人材センター 清水 弘 氏
  - ・社会福祉法人 万葉の里 坂田 晴弘 氏
  - ・東京むさし農業協同組合 宮寺 正宜 氏

- 4 委員交流タイム
- 5 次回の国分寺市地域福祉推進協議会について

開会 午後6時30分

## 1 開会のあいさつ

会長よりあいさつと、前回、副会長に互選された特定非営利活動法人あおぞらの原委員が欠席だったため、改めて就任あいさつを行った。

## 2 「団体紹介・参加委員自己紹介シート」及び「地域福祉に関する自主的な活動目標シート」集について

事務局（小峯福祉計画係員）より説明。

## 3 自己紹介及び活動目標の紹介

### ・個人の市民 豊沢 淳一 氏

皆さん、こんばんは。東恋ヶ窪四丁目から来ました豊沢です。生まれは台湾の台北です。文京区の都立竹早高等学校から群馬県の高崎経済大学に行きまして、経済学を勉強しました。国分寺市の隣の小平市にかなり大きな工場と研究所、技術センターがありますブリチストンに入りまして、ブリチストンスポーツで定年を迎えました。会社からは次の職場をとということで紹介がありましたけれども、やりたいこと、調べたいことがたくさんあったものですから、断りました。調べたいことというのは、国分寺市が発祥の地と言われているロケットに関して宇宙のブラックホールとか、宇宙が拡大の一途をたどっているなど宇宙の謎に関してですとか、皆さん寝ているとき夢を見られると思いますが、その夢が人間の脳のどういう働きで見えるようになっているかですとか、人間の体の不思議さなどです。それから最近、世界で起こっている宗教戦争、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教、ヒンズー教、仏教などの宗教が世界でどんなことになっているのか、なぜ世界で戦争が起こるのかなどです。1,500冊ほどの本を読み、また、専門家の方の話をいろいろ聞きました。現在の科学で解明されている点と現在どういう研究が進められているかというところまでたどり着きましたので、これからは住んでいる国分寺市の福祉関係をお手伝いしようと、1年ほど無料学習塾の講師をいたしました。

それから、国分寺市の防災まちづくり委員にもなりました。現在、東京で一番治安がいいのは文京区、二番目が目黒区、三番目が荒川区だそうです。国分寺市のランクアップに努めさせてもらいたいと思っています。

また、国分寺市地域福祉推進協議会委員になりました。2060年問題、高齢者人口が40%に到達するという問題が提起されております。私の家の前に一人暮らしの高齢者がいらして、その方が朝4時に自転車で世田谷まで行き、路上で転倒し、けがをして横たわっていたところを発見され、パトカーに乗せられて戻ってきて、警察官が私のところに訪ねてきました。本人を確認してほしいというので、パトカーを覗き込むと、顔は傷だらけで、御

本人は乗っているのだけれども、驚いたことに、昨日まで自分が住んでいたところを、自分の家ではないと、家は別のところにあると言っている。カギはどうしたのかと聞くと、カギは数年前に処分した車の中に置いてあるなどと言い、カギのありかもわからなくなっていました。完全に認知症になってしまっていました。

もっと驚いたことは、私の家の一軒隣に老夫婦が住んでおられたのですが、その御主人が亡くなってから数日が経っており、奥様も寝床で身動きが取れない状態であったそうで、パトカーは来るわ、消防車は来るわ、救急車は来るわで、事故処理に1日かかりの大騒動になってしまいました。現に、身近にこのようなことが起こっており、私は、国分寺市にお住いの一人暮らしの高齢者の方たちを、皆さんと力を合わせながらサポートをしていきたい。認知症でガスの栓を止め忘れたとか、石油ストーブの処理の間違いで火災を起こすとか、孤独死とか、そのような事故が起こらないようにサポートをしていきたいと思っております。

そろそろ時間になりましたので、終わりにいたしますが、どうぞよろしく願いいたします。

**会長：**豊沢委員、ありがとうございました。一人暮らしの高齢者のサポートをしていきたいということでございます。いろいろな経験をなされてきたということで、それらを活かして福祉のために御尽力いただきたいと思います。

それでは、続いて、清水委員。

**・公益社団法人 国分寺市シルバー人材センター 清水 弘 氏**

こんばんは。公益社団法人国分寺市シルバー人材センターの理事をしています清水です。よろしく願いいたします。初めに、シルバー人材センターの認知度をお聞きしたいと思います。どこにあるのか、どんな仕事をしているのかご存じですか。場所は福祉センター2階の一部、部屋を借りて事務所を構えています。大きなビルで看板を掲げているわけではありません。仕事は高齢者の就労、高齢者が生き生き働ける場ということです。国、東京都、国分寺市から助成、指導を受けて、営利を目的としない法的な団体です。また、全国組織でもあり、全国で約1,300団体あります。高齢者の方が今まで長年培った経験、知識やノウハウを活用して仕事をしています。会員同士が協力し合って自主自立し、協働共助という形で自分たちの手で作り上げている団体です。現在、会員は750名くらいいます。仕事についている方は約80%です。

次に、私は何をしているかということです。シルバー人材センターには3つの委員会があり、そのうちの一つ、事業委員会というところにおりまして、事業の拡大、会員の増強などに専念しております。

また、私は民生委員・児童委員の役員もさせていただいております。

シルバー人材センターの事業の拡大ですが、植木の手入れ、学校や自転車駐車場などの施設管理や、家事育児サービスにも取り組んでいます。また、今年4月から派遣事業にも取り組んでいます。会員の増強については、PRとして入会説明会を年に20回実施しております。市報に掲載したり、駅でチラシを配布したり、こくぶんじまつりではっぴを着て会員を募ったりしています。今年、秋には会員増強のキャンペーンを実施する予定もありま

す。入会した方、入会者を紹介してくださった方には限られた予算ですが、粗品を、クオカードなどを差し上げようじゃないかということで検討をしているところです。これらが、シルバー人材センターの紹介と私の活動です。

続いて、活動目標シートについてです。これを記入するときに苦労しました。ここに載せる以上は、ある程度実現可能なものと考えました。シルバー人材センターで独自でアクションを起こせる能動的なテーマがいいだろうと思ったのですが、それはなかなか難しい。では受動的なテーマだったらどうだろうかということで考えました。シルバー人材センターでは月2回、市報の配布をしています。私も配っていますが、市内60数名の方が配っています。ただポストに配るだけではもったいないなど、何かできないかと思ひまして、見守りということを考えました。高齢者、障害者とかピンポイントで様子を見てほしいという要望があれば、いろいろな層の方が見守りをやることはよい姿だと思ひ、実現可能ではないかと思ひました。そこで、「平常時の高齢者の見守り」という目標を掲げました。これには障害者の方も含まれます。

最後に、スケジュールです。これはアバウトな日程です。シルバー人材センターで受けて、内容を協議して、理事会の承認を得て実施という形です。

以上が私の発表です、ありがとうございました。

**会長：**清水委員、ありがとうございました。シルバー人材センターは私ども社会福祉協議会と同じ建物にあります。会員は約750名ということをお聞きしました。ありがとうございました。

それでは、続いて、坂田委員。

#### ・社会福祉法人 万葉の里 坂田 晴弘 氏

皆さん、こんばんは。資料は173ページからが私のシートになっています。社会福祉法人万葉の里で、国分寺市障害者センターの施設長をさせていただいております坂田と申します。団体の紹介ですが、国分寺市障害者センターは泉町の交差点の東側にあります、第四小学校の斜向かい、いずみプラザの隣です。平成15年4月にオープンしまして14年目を迎える障害者の方の施設です。オープンするに当たって、市の障害福祉計画の中で障害者の方のための施設をつくるのに、どんな障害の方でも使えるようにしていきましようという方向性がありました。当時、いろいろな障害の種別ごとに、例えば身体障害者の方は身体障害者の方の支援をしている団体があり、知的障害には知的障害、精神障害には精神障害というように専門の領域が分野ごとに分かれていた時代でした。私たちはいろいろな障害の方を受け入れようということで、平成14年12月に、障害者センターの業務を受託するために社会福祉法人を立ち上げました。障害者センターを初年度から運営させていただいております。現在は指定管理者という形で運営を継続させていただいております。現在は難病の方も障害者の枠に入っておりますが、障害者センターは平成15年から受け入れを可能なように努力をしてきております。

ここにも書かせていただきましたが、「利用者本位のサービスの実現」。利用者の方、障害のある方がのびのびと、その人らしく暮らしていけるようなお手伝いをしていく。そして「地域社会との連携と協働」。障害のある方はかわいそうで何でもサービスを受けるという存在ではなくて、地域の一員として力は小さいかもしれませんが、一緒にできる

ことをがんばってやっていきたいと。できることとは例えば仕事だったり、自分が頑張っ  
て表現することだったり、そういうことをのびのびとできる環境をつくっていかうと考  
えておりました。そして、そういう方々を支える職員の専門性。私たちの専門性は、一番は  
障害のある方をわかろうとする、努力することだと思っております。そういう専門性を活  
かせるそんな職場をつくっていかうと、こんなスローガンで障害者センターを14年ほど運  
営させていただいております。

私自身は学生時代からこういうボランティア活動などに関わるようになりまして、最初  
は神奈川県で知的障害のある方の施設で10数年働き、縁がありまして国分寺市にお邪魔し、  
今では神奈川県で仕事していた時間より、国分寺市で仕事している時間の方が長くなっ  
てきました。

私は、東京都葛飾区、フーテンの寅さんで有名な柴又の隣町、金町というところで生ま  
れ育ってきたので、生まれは葛飾、育ちは神奈川、そして第二の故郷が国分寺というよ  
うな感じで仕事をしております。

障害者センターのお話を少しさせていただきますと、いろいろなことをやっておりまし  
て、ここには書ききれませんが、地域の方々と触れ合うものとして3つほど挙げました。

一つは毎年10月第3日曜日に、障害者センターまつり「はばたけ!!サンサンゆめまつり」  
というタイトルのお祭りを実施しています。障害者関係の団体の皆さんをはじめ、地域の、  
例えば居酒屋さん、お好み焼き屋さん、移動販売のクレープ屋さんなどもおいでになり、  
社会福祉協議会の方には子どもたちが遊べるブースを出していただいたり、いろいろな方  
に来ていただき、障害のある方もない方も障害者センターを知っていただき、一緒に楽し  
めるお祭りを開催しております。最近子どもコーナーが人気で、10時半から2時半まで  
やっているのですが、子どもたちがたくさん来てずっと遊んでいられるお祭りになってき  
ました。

それから、「つばさ」という相談支援を、いろいろな困りごとなど相談を受ける部署があ  
るのですが、初年度から年に3回くらい「市民福祉講座」という名称でいろいろなテーマ  
で市民の方と一緒に、障害のことについて、障害のある方の暮らし方について、どんな支  
援が必要なのかということ勉強する会を継続的に行っております。毎回20名から多いと  
きで60名くらいの方に御参加いただいております。

それから、障害の重い方々が通ってくる「太陽」という部署があります。そこでは、や  
はり初年度からリサイクル活動を行っております。道端に落ちている空き缶を捨てること  
から始まって、今では拠点回収で集まってくる空き缶をいただいてそれを水洗いして再利  
用できるように処理をして業者に引き取ってもらうということを行っております。段ボールや紙  
などの回収もし、再利用できるよう活動しております。

また、国分寺市は文化度が高い市だと伺っています。家に書斎のある家も多いよう  
です。1軒1軒、古本はありませんかというチラシを障害のある方が配っています。多くの方  
から取りに来てほしいと連絡があり、段ボール箱で5箱も10箱もいただくことがあります。  
その本を、落書きがないか、汚れていないか、汚れていれば汚れを落として、古本屋に買  
っていただく活動を行っております。本が眠ったままになっていないか、新たに本を読んで  
もらえるよう、リサイクルの活動を行っております。

障害のある方を理解していただくこと、障害のある方も地域を理解すること、双方が半

歩ずつ近づくことで、一歩進んだことになるかなと思っています。障害のある方の社会参加を皆さんに温かく見守っていただき、共に暮らせるまちをつくっていただけたいなど、そんなことを理想にしながら仕事をしています。

万葉の里では、活動目標シートを2つ、書かせていただきました。一つは防災に関わることです。いずみプラザと合同の訓練が年2回。障害者センター単独で地震想定避難訓練を年1回、合計年に3回避難訓練を実施しています。実際に車いすの方を2階や3階から階段を使って降りていただくという訓練を職員一同やっているのですが、障害者センターやいずみプラザの職員の協力の中、この一角の人たちだけで防災訓練を行ってきたということが10数年続いてきています。泉町には防災会という防災に関わる立派なボランティアの組織もあると聞いております。東京にも大地震が来ると言われていますし、東日本大震災も経験しておりますので、ぜひ、そういう方々とつながりをつくっていきたい。災害時には、エレベーターが止まってしまうと行き来ができなくなってしまいますので、障害者センターの皆さんと顔見知りになっていただき、いざというとき避難誘導のお手伝いをしていただけたいなと思っています。

ほかにも市内に福祉施設がたくさんありまして、小さいものではグループホームという生活の場などもあります。近所に障害のある方が住んでいるということもよく見かけるようになってきております。ぜひ、皆さんの温かい手を差し伸べていただくと多くの命が助かるのかなと思っています。

そして、もう一つは、ごみ拾いです。昨年度、職員を中心に障害者センターの周りのごみ拾いをいたしました。目ざとく気付いてくださる市民の方がいらして、「ごみ拾ってるの？」と声をかけてくださったりしました。実は、今年はまだできていません。このテーマをいただいたときに、では、これをやろうと思いました。職員と一緒に再開したいと思っています。そして、市民の方と一緒に、障害のある方も一緒にごみを拾う。小さな活動かもしれませんが、街がきれいになるということはとても気持ちのいいことだと思っていますし、ちょっとしたことでできる福祉活動だと思っておりますので、取り組んでみようと思わせていただきました。大したことはできませんけれども、地道にしっかり取り組んでいくことによって、小さな輪が大きな輪になっていくといいなと思っています。これからもよろしく願いいたします。

**会長：**坂田委員、ありがとうございました。

それでは、最後に、宮寺委員、お願いします。

**・東京むさし農業協同組合 宮寺 正宜 氏**

皆さん、こんばんは。ただいま御紹介いただきましたJA東京むさし国分寺支店の宮寺と申します。本日はよろしく願いいたします。皆さん、福祉の専門の方の前でこのように発表するという事はとてもプレッシャーがかかっております。

まず、始めになぜここにJAがいるのかと思っていらっしゃる方がいるかもしれません。私も、前回の会議に来たときに場違いではないかと感じました。参加することになったのは、市の方から農協さんもぜひ参加してほしいと言われたからですが、もともと、地域づくりに貢献するという事を私どもJAの経営理念としておりますので、地域のためになることであれば、ぜひ参加させてもらおうと委員をお引き受けした次第です。

「福祉」ということについては、難しく考えてはいなかったのですが、地域の皆さんに優しいことができればいいのかな、また地域の方によかったと言ってもらえる活動ができればいいのかなというところで、本日の発表も皆様に御理解していただければと思います。

団体の概要ですが、国分寺地区の農協としては、国分寺支店と新町支店の2店舗がございます。私がいるのは国分寺支店で、連雀通りと府中街道の交差点のところで、今ずっと道路工事をしているところです。国分寺支店が新しくきれいになったのは、4年前くらいの話で、当時、東京都から府中街道の拡幅工事で旧の国分寺支店が当たるので、店舗を縮小してでも動いてほしいという話がありました。まだ使える店舗ではあったのですが、これを機に建物を建て替えました。新たな直売所をつくるということで、市内でつくった農産物を皆さんに提供できる売り場を新設したいという思いがあり、金融の建物とファーマーズマーケットという直売所の建物をそれぞれつくり、2階で合体する建物といたしました。この全体が国分寺支店でございます。

新町支店は、内藤橋通りと戸倉通りの交差点のところで、こちらは金融のみの店舗となっております。

国分寺地区の統括支店長というのは何かとよく聞かれますが、国分寺支店には支店長と言われる者は私だけで、新町支店には新町支店の支店長がおります。この2店舗を統括するという意味で統括支店長ということになっております。職員の中で市内では私が一番上の役職ということになります。

いまだに、国分寺農協と言われることも多いのですが、平成10年に国分寺市、小平市、小金井市、三鷹市、武蔵野市の5市JAが合併して、今の東京むさしになっております。農協は自分の区域外の活動ができないということになっております。ただ、5市JAが合併しましたので、5市の中でしたら、だれでも利用ができるようになっております。基本は農業者の組合ですけれども、地域の方も出資をさせていただいて、かなり多くの方に御利用いただいております。地域の皆さんで2万4千名ほど会員がおります。正組合員という農家の方は3千名ちょっとということで、地域の皆さんの方が多いう状況です。

先ほどお話しした東京むさしの経営理念は、「健康で豊かな農を基にしたまちづくりを目指す」、「笑顔と感謝の地域づくりに貢献する」ということです。少しでも地域の皆さんに貢献しようということで頑張っております。

私自身は小平市の出身で、母が国分寺生まれで、実家は農家をしています。今でも農家をやっております。子どものころから国分寺は隣町でよく通ってきていました。駅を降りたら農村部ばかりという風景がいつの間にかこんなにきれいに発展して今、北口は再開発事業を行っております。当時は特快も止まらない国分寺駅で、立川から三鷹まで通り越してしまうということもありました。こんなに大きな街になり市民も多くなったなと感じております。

農協の活動ということで、182ページをご覧ください。福祉と言えるのかと思うところもありますが、毎朝店舗の周りの清掃活動を行っております。先ほどお話ししたように道路の改修工事でやっと歩道ができてきて、掃除がしやすくなったのですが、それまではどこまでが掃除範囲かと思うほど広くて大変でした。

また、交通安全運動の時期には、国分寺支店、新町支店の交差点で、朝の限られた時間ではありますが、職員が立っています。

皆さん、国分寺支店にいらしたことはありますか。国分寺支店には屋上庭園があります。年末年始以外は平日、休日、祝日問わず屋上庭園を一般開放しております。朝9時から夕方5時までです。ご存じの方はお子さまを連れてきて屋上で遊ばせております。また2階にはトイレも自動販売機もありますので、暑いとき、急に雨が降ったときなどお立ち寄りいただければと思います。2階には農業関係の本なども置いてありますので、本を読んだりいっしょの方もおります。同じく2階にはセミナールームという部屋があります。料理教室ができるようなつくりになっており、一般市民を募って料理教室も行っています。定員は少ないのですが、募集の際はぜひ御参加ください。

今、課題としては、直売所で野菜を売っているのですが、買いにいらっしゃる方は高齢者の方が多く、休日以外は徒歩や自転車の方が多くことです。農家の方は新鮮な野菜を朝採ってそのまま持ってきます。加工はしたくないのです。でも、野菜を買う方は、大根1本、キャベツ1個を家に持って帰るのに大変だったりします。核家族だったり、一人で食べるには多いということで、やっぱり買うのをやめて、スーパーでカット野菜を買うという方の声を聴くともったいないなと思います。値段としても1個の値段は高いものではなくて、朝採った新鮮なものを、持って帰れないだけで食べてもらえないのは残念だなと思っています。

また、小平市の学校給食では、新聞にも出ているように25%を超える市内産の野菜を使った料理を出しています。身近に農地があるので、そこでつくった安心安全な野菜を食べていただけるような取組を国分寺市にもお願いをしながら今後活動をしていきたいと思っています。

今年度の活動目標としまして、これも福祉なのかなと思いながら書きましたが、きっかけは、当JA国分寺地区の理事が、高齢や一人暮らしで遠くまで野菜を買いに行けない方がいる、直売所も近くにないので、できれば出張販売ができないかという話をされました。農家の方は通り筋にいっぱい直売所を出しているのですが、そんなことがあるのかなと思いましたが、よく聞いてみると、本多のところで、国分寺駅北口から北へまっすぐ行って、オリンピックの方へ東に曲がるコーナーあたりまで行くと、お店はあまりなく、そのあたりは昔からの住宅が多く、高齢者が多いというのです。たしかに、そのあたりは野菜をつくらしている農家がないので直売所もないのです。そして、自治会長をはじめ地域の方たちから、ここで新鮮な野菜を売ってほしいというお話がありました。JAで何とかできないかと昨年から考えてきましたが、人もお金も必要だし、一番の問題は場所をどうするのかということがありました。市の方とも相談しまして、本多のわかば公園というところで直売を行うことになりました。7月1日より金曜日3時から4時という1時間程度ですが、始めたいと思っています。始めればいろいろ課題は出てくると思います。今の課題は、生の野菜なので、天候によって、置きっぱなしというわけにはいかない、いかに鮮度を落とさずに、買いにいらっしゃる方に不便をかけないようお売りできるか。また、売れる量が少ないと頻度を上げていくことが難しいので、できるだけ利用していただけるようPRをしていかなければならないと思っています。

7月については毎週1回1時間でやりますけれども、課題を整理しつつ、今年度は継続して実施していきたいと思っています。

私の発表は以上です。ありがとうございました。



会長：宮寺委員，ありがとうございました。お話の中で屋上庭園のことがありました。私も先日，お伺いしたときに統括支店長自ら御案内いただきました。大変見晴らしがよく，気持ちがよかったです。ぜひ，お時間があればお立ち寄りください。

それでは，4人の意見発表は終わりました。発表してくださいました委員の皆様，ありがとうございました。

今後一年間，私も含めてですが，それぞれの目標に向かって，できることから活動を進めていければと思います。

#### **4 委員交流タイム**

事務局（松原福祉計画係員）より説明し，20分間の交流タイムを二部制で実施。

閉会 午後8時30分

# 平成28年度第1回国分寺市地域福祉推進協議会 出欠席一覧

	個人・団体	団体名等	氏名	代理出席者	出欠
1	個人の市民		朝倉 さく		出席
2			大澤 源治		欠席
3			片畑 智子		出席
4			豊沢 淳一		出席
5	団体等	泉山自治会	神永 貞信		欠席
6		一般財団法人 国分寺市健康福祉サービス協会	松尾 香保里		出席
7		一般社団法人 矢島助産院	矢島 床子		出席
8		介護保険サポーターズ国分寺	木田 マサ子		出席
9		株式会社 こどもの森 しんまち児童館	川尻 亜利奈		出席
10		公益社団法人 国分寺市シルバー人材センター	清水 弘		出席
11		公益社団法人 東京都助産師会 国分寺地区分会	矢島 藍		出席
12		国分寺あゆみ会	須長 靖夫		欠席
13		国分寺市国際協会	若島 礼子		出席
14		国分寺市商店会連合会	小林 治		出席
15		国分寺市私立幼稚園協会	和地 俊幸		欠席
16		国分寺市身体障害者福祉協会	田中 博子		出席
17		国分寺市赤十字奉仕団	野和田 晃		欠席
18		国分寺市聴覚障害者協会	鈴木 一徳		出席
19		国分寺市民生委員・児童委員協議会	岡田 忍		出席
20		国分寺市民生委員・児童委員協議会	戸倉 央江		欠席
21		国分寺市民生委員・児童委員協議会	宮崎 邦子		出席
22		国分寺市民生委員・児童委員協議会	山田 正則		欠席
23		国分寺市老人クラブ連合会	渡邊 幹夫		出席
24		国分寺青年会議所	山本 雄一		出席
25		国分寺地域包括支援センターこいがくぼ	村形 ちづる		出席

	個人・ 団体	団体名等	氏名	代理出席者	出欠
26	団体等	国分寺地域包括支援センターなみき	櫻井 賢司		出席
27		国分寺地域包括支援センターひかり	三浦 玲子		出席
28		国分寺地域包括支援センターひよし	石川 聖子		出席
29		国分寺地域包括支援センターほんだ	曾根 友美		出席
30		国分寺地域包括支援センターもとまち	長畑 達也		出席
31		国分寺難病の会	細田 富夫	阿部 敏子	出席
32		社会福祉法人 AnnBee	山内 敦		出席
33		社会福祉法人 菊美会	田辺 和子		出席
34		社会福祉法人 けやきの杜	大竹 眞澄		欠席
35		社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会	牛田 純一		出席
36		社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会	大内 陽子		欠席
37		社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会	北邑 和弘		出席
38		社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会	熊谷 淳		出席
39		社会福祉法人 国分寺市社会福祉協議会	前田 住榮		出席
40		社会福祉法人 心会	並木 雅人		出席
41		社会福祉法人 つくしんぼ共同保育会	織戸 小百合		出席
42		社会福祉法人 ななえの里	嶋田 尚美		出席
43		社会福祉法人 はらからの家福祉会	伊澤 雄一	岡本 和子	出席
44		社会福祉法人 日吉会	大槻 泰稔		出席
45		社会福祉法人 普門会	田村 道子		出席
46		社会福祉法人 万葉の里	坂田 晴弘		出席
47		社会福祉法人 浴光会	千葉 寿美子		出席
48		東京むさし農業協同組合	宮寺 正宜		出席
49		特定非営利活動法人 あおぞら	原 俊男		出席
50		特定非営利活動法人 健康体操指導ワーカーズ	小川 葉子		出席

	個人・ 団体	団体名等	氏名	代理出席者	出欠
51	団体等	特定非営利活動法人 国分寺市手をつなぐ親の会	阿部 由美		出席
52		特定非営利活動法人 ワーカーズ風ぐるま	橘 裕子		出席
53		特定非営利活動法人 ワーカーズコープ もとまち児童館	浅見 啓太		出席
54		特定非営利活動法人 ワーカーズコープ ひかり児童館	平尾 純子		出席
55		認定NPO法人 冒険遊び場の会	武藤 陽子		欠席
56		「発達障害者の親」の会 なのはな会	横坂 かおる		出席
57		東恋ヶ窪六丁目自治会	田代 和雄		出席
58		日吉町町内会	鹿島 義之		出席
59		有限会社 母と子のサロン	小川 みさと		出席

※ 敬称略。名簿順については50音順です。